

ひこね 市議会だより

第155号

2021.12
(令和3年)

国立大学法人滋賀大学と彦根市議会 との連携・協力に関する協定書 式



国立大学法人滋賀大学と連携・協力に 関する協定を締結しました

令和3年7月臨時会（7月26日）

令和3年9月定例会（9月6日～10月13日）

- 7月臨時会で決まったこと… 2
- 9月定例会で決まったこと… 2～7
- 代表質問 …………… 8、9
- 個人質問 …………… 10～19
- お知らせ …………… 19、20

※詳しくは20ページ上段をご覧ください。

インターネット中継やFacebookは

彦根市議会

で検索

7月臨時会の結果

7月26日（月）の7月臨時会の結果についてお知らせします。
 予算関係4件を原案のとおり可決しました。

7月臨時会 議案の審議結果

会期：7月26日（月）

■全員賛成で可決した議案

項目	番号	件名
議案	58	令和3年度(2021年度)彦根市一般会計補正予算(第7号)
	59	令和3年度(2021年度)彦根市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)
	60	令和3年度(2021年度)彦根市介護保険事業特別会計補正予算(第2号)
	61	令和3年度(2021年度)彦根市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)

■議会に提出された報告

項目	番号	件名
報告	16	損害賠償の額の決定について

9月定例会の結果

10月13日（水）に閉会した9月定例会の結果についてお知らせします。

予算関係5件、決算関係4件、条例関係5件、その他議案6件、諮問6件を原案のとおり可決、同意、認定、適当と認めました。

また、請願1件を採択し、修正案1件を否決、委員会議案1件を可決、意見書案2件を可決しました。

9月定例会 議案等の審議結果

会期：9月6日（月）～10月13日（水）

■全員賛成で可決・同意・採択・認定・適当と認めた議案等

項目	番号	件名	項目	番号	件名		
議案	63	令和3年度(2021年度)彦根市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	議案	75	令和2年度(2020年度)彦根市下水道事業会計の決算につき認定を求めることについて		
	64	令和3年度(2021年度)彦根市病院事業会計補正予算(第1号)		76	彦根市公平委員会委員の選任につき同意を求めることについて		
	65	彦根市個人情報保護条例および彦根市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用および特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例案		77	彦根市教育委員会教育長の任命につき同意を求めることについて		
	66	彦根市印鑑条例の一部を改正する条例案		78	彦根市教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて		
	67	彦根市スポーツ・文化交流センターの設置および管理に関する条例の一部を改正する条例案		79	令和3年度(2021年度)彦根市一般会計補正予算(第9号)		
	68	彦根市犯罪被害者等支援条例の一部を改正する条例案		81	令和3年度(2021年度)彦根市一般会計補正予算(第10号)		
	69	彦根市営住宅の設置および管理に関する条例の一部を改正する条例案		請願	5	コロナ禍による米の需給改善と米価下落の対策を求める請願	
	70	工事請負契約の締結につき議決を求めることについて			諮問	1~6	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて
	71	財産の取得につき議決を求めることについて				委員会 意見書	4
	72	財産の取得につき議決を求めることについて			2		コロナ禍による米の需給改善と米価下落の対策を求める意見書案
	73	令和2年度(2020年度)彦根市病院事業会計の決算につき認定を求めることについて	3	コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書案			
	74	令和2年度(2020年度)彦根市水道事業会計の決算につき認定を求めることについて					



■ 議会に提出された報告

項目	番号	件 名
報 告	17	和解および損害賠償の額の決定について
	18	令和2年度(2020年度)一般財団法人彦根市事業公社の決算状況について
	19	第33期彦根総合地方卸売市場株式会社の決算状況について
	20	第24期株式会社夢京橋の決算状況について
	21	第18期株式会社四番町スクエアの決算状況について

項目	番号	件 名
報 告	22~25	市の債権の放棄について
	26	令和2年度(2020年度)主要な施策の成果、事務報告書および基金運用状況報告書について
	27	令和2年度(2020年度)彦根市の健全化判断比率等について
	28	損害賠償の額の決定について

■ 賛否が分かれた議案等

(○：賛成 ●：反対 一：議長 退：退席)

項目	番号	件 名	結果	辻 真理子	中 川 睦子	角 井 英明	堀 口 達也	北 川 元気	上 杉 正剛	中 野 正剛	杉 原 祥浩	谷 口 典隆	和 田 一繁	野 村 博雄	森 野 克彦	林 利 幸	森 田 充	小 川 吉則	矢 吹 安子	赤 井 康彦	小 川 隆史	黒 澤 茂樹	伊 藤 容子	馬 場 和子	長 崎 任男	安 澤 勝	
議 案	62	令和3年度(2021年度)彦根市一般会計補正予算(第8号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	●	○	退	○	○	○	○	○	○	○	○
修正案		議案第62号 令和3年度(2021年度)彦根市一般会計補正予算に対する修正案	否決	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議 案	80	令和2年度(2020年度)彦根市各会計歳入歳出決算につき認定を求めることについて	認定	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

9月定例会で

議員活動と家庭生活との両立&誰もが活躍しやすい環境の整備のため、市議会会議規則改正を全会一致で可決しました！

第5次男女共同参画基本計画に基づき、彦根市議会において、議員活動と家庭生活との両立および誰もが活躍しやすい環境の整備の観点から、出産、育児、介護等を理由とする会議および委員会の欠席について、欠席事由および期間を明文化するため、「彦根市議会会議規則」における会議の欠席に関する規定（第2条）および委員会の欠席に関する規定（第83条）を改めました。

彦根市議会会議規則の改正内容

新	旧
<p>(欠席の届出)</p> <p>第2条 議員は、<u>公務、疾病、育児、看護、介護、配偶者の出産補助その他のやむを得ない事由</u>のため出席できないときは、その理由を付け、当日の開議時刻までに議長に届けなければならない。</p> <p>2 議員は、<u>出産のため出席できないときは、出産予定日の6週間（多胎妊娠の場合にあっては、14週間）前</u>の日から当該出産の日後8週間を経過する日までの範囲内において、その期間を明らかにして、あらかじめ議長に欠席届を提出することができる。</p> <p>(欠席の届出)</p> <p>第83条 委員は、<u>公務、疾病、育児、看護、介護、配偶者の出産補助その他のやむを得ない事由</u>のため出席できないときは、その理由を付け、当日の開議時刻までに委員長に届けなければならない。</p> <p>2 委員は、<u>出産のため出席できないときは、出産予定日の6週間（多胎妊娠の場合にあっては、14週間）前</u>の日から当該出産の日後8週間を経過する日までの範囲内において、その期間を明らかにして、あらかじめ委員長に欠席届を提出することができる。</p>	<p>(欠席の届出)</p> <p>第2条 議員は、<u>事故のため出席できないときは、その理由を付け、当日の開議時刻までに議長に届けなければならない。</u></p> <p>2 議員は、<u>出産のため出席できないときは、日数を定めて、あらかじめ議長に欠席届を提出することができる。</u></p> <p>(欠席の届出)</p> <p>第83条 委員は、<u>事故のため出席できないときは、その理由を付け、当日の開議時刻までに委員長に届けなければならない。</u></p> <p>2 委員は、<u>出産のため出席できないときは、日数を定めて、あらかじめ委員長に欠席届を提出することができる。</u></p>



一般会計予算の主な事業

キャッシュレス決済ポイント還元事業

3億5,312万7千円

市内店舗等へのキャッシュレス決済の普及促進による地域経済の活性化および会計時の接触機会の低減による感染防止を図ることを目的に、QRコード決済事業者と市が連携してポイント還元キャンペーンを実施することにより、新型コロナウイルス感染症拡大により大きな影響を受けた市内店舗等の売上げ回復を図り、本市経済の活性化を図るため必要となる経費です。

※全額国庫支出金（新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金）をもって賄います。



新型インフルエンザ等危機管理体制整備事業

224万4千円

避難場所等における感染症対策に万全を期すことを目的として、開設運営に必要な備品（災害対策用プライベートルーム34基）を購入するために必要となる経費です。

※一部国庫支出金（新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金）をもって賄います。（事業費224万4千円のうち174万9千円を充当）

※既存のワンタッチパーテーションは〔高さ1m・屋根なし〕ですが、この予算で配備するプライベートルームは〔高さ2m・屋根ありのファミリールーム〕の予定です。



▲既存のワンタッチパーテーション

小学校教育用コンピュータ整備事業

2,500万8千円

中学校教育用コンピュータ整備事業

1,253万6千円

新型コロナウイルス感染症拡大時において、児童・生徒の学びを止めることのないよう、学習者用端末の持ち帰り時に使用する充電器および特別支援学級に在籍する児童・生徒の学習用ソフトの購入に必要となる経費です。

※全額繰入金（新型コロナウイルス感染症対策支援基金）をもって賄います。

放課後児童クラブ運営事業

1,833万1千円

放課後児童クラブの施設においては、無線LAN環境がなく、タブレット学習が実施できない状況であるため、無線LAN環境を整備するために必要となる経費です。

※全額国庫支出金（新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金）をもって賄います。

9月定例会追加議案等に対する個人質疑

議案第62号 令和3年度（2021年度）彦根市一般会計補正予算に対する修正案に対して2名（森田充議員、北川元気議員）から個人質疑がありました。

予算常任委員会

議案第62号「令和3年度（2021年度）彦根市一般会計補正予算（第8号）」等、5件の議案を可決

予算常任委員会は、9月21日（火）、29日（水）、10月13日（水）に委員会を開催し、5件の議案について慎重に審査しました。

【審査】

- ・議案第62号、議案第63号、議案第64号、議案第79号、議案第81号

【主な質疑】

- 議案第62号に対して
 - 【ひこね燦ばれず整備関係について】
 - Q ひこね燦ばれず図書館整備の時期は。
 - A 令和6年から10年の間のできる限り早期を想定。
 - 【中国湘潭市との交流事業について】
 - Q 中国湘潭市との交流事業の減額理由は。
 - A コロナ禍により招待・訪問ができない状況となり、オンラインで対談や式典を開催することとなったため。

【主な討論】

- 議案第62号に対して
 - 反対 図書館基本整備計画に則らず、ひこね燦ばれずの図書館化ありきの提案であることや、増築案に言及するなど答弁

が場当たりの不信の念を持つことから反対する。

ひこね燦ばれず図書館化には賛成だが、これまで検討を重ねてきた彦根市図書館の3館体制構想の趣旨を踏まえ、図書館用地として確保した清崎町地先に係る市場調査等は白紙に戻すのではなく、予定通りに行うべきだと考えることから反対する。

賛成

多くの市民が早期に図書サービスを受けることができ、市民負担が将来にわたって大幅に軽減される現実的な方策であることから賛成する。

彦根市図書館整備基本計画に従った、市民要望の高い図書館の一刻も早い建設を求めている、今回のひこね燦ばれずの図書館化は、そういった市民の要望にこたえていることから賛成する。

【結果】

- ・議案はいずれも原案のとおり可決

市民産業建設常任委員会

議案第66号「彦根市印鑑条例の一部を改正する条例案」等、議案2件を可決・請願1件を採択

市民産業建設常任委員会は、9月22日（水）に委員会を開催し、議案2件および請願1件について慎重に審査しました。

【審査】

- ・議案第66号、議案第69号
- ・請願第5号

【主な質疑】

- 議案第66号に対して
 - Q 本市以外で条例改正をしている自治体は。
 - A 県内で今回の本市のように改正されている自治体は長浜市と野洲市である。
- 議案第69号に対して
 - Q 10月1日からパートナーシップ宣誓制度が始まるのが条例改正の前提だが、導入は間に合うのか。
 - A 10月1日から導入することについては、全く問題なく、順調に進んでいる。

【主な討論】

- 請願第5号に対して
 - 賛成 国民の命を守る重要な資源として、食

料はどの国でも重要視されているが、公的支援が十分なされておらず、国としてしっかり守っていかなければならない。また、彦根でも、後継者がいないということと、耕作放棄地が増えている現状を深刻に考えていることから賛成する。

米価が厳しい現状を国の方でしっかりと議論し、取組を進めていただきたい。また、市においても、生活困窮者や学生に米を支援する事業等を積極的に推進し、彦根の農業を守っていかなければならないと考えることから賛成する。

【結果】

- ・議案はいずれも原案のとおり可決
- ・請願第5号は採択

企画総務消防常任委員会

議案第67号「彦根市スポーツ・文化交流センターの設置および管理に関する条例の一部を改正する条例案」を可決

企画総務消防常任委員会は、9月24日（金）に委員会を開催し、5件の議案について慎重に審査しました。

【審査】

- ・議案第67号、議案第68号、議案第70号、議案第71号、議案第72号

【主な質疑】

- 議案第67号に対して
- Q 調査の結果、燦ぱれすが図書館として利用できない可能性はあるのか。
- A 平成3年の建設で、建築基準法上の構造基準で耐震性を有しており、一定の補修等が必要かもしれないが、図書館として活用できないということはないと考えている。
- Q 燦ぱれすは図書館としていつ頃から機能するのか。
- A 令和6年から令和10年のなるべく早い時期に、国スポ・障スポの開催に支障がないかたちで整備したいと考えている。

【主な討論】

○議案第67号に対して

反対 令和7年に国スポ・障スポがあることを考えると供用開始がかなり先となる可能性があり、市民サービスが低下する等、市民にとって間違いなくマイナスであることから反対する。

賛成 燦ぱれすは立地的に半径3キロメートル内に、城南、平田、金城、佐和山、高宮、若葉等の学区があり、彦根市の人口11万人の約半分の5万2000人が居住していて、近隣の住民にとって待望の図書館であることから賛成する。

【結果】

- ・議案はいずれも原案のとおり可決

議会改革特別委員会

災害発生時の対応要領および行動マニュアルの改正・滋賀大学との新たな協定を締結・協議項目等を整理

6月29日（火）に委員会を開催し、「災害発生時の対応要領および行動マニュアルの改正について」「滋賀大学との連携について」「協議項目等の整理について」の3件を議題として協議しました。

「災害発生時の対応要領および行動マニュアルの改正について」では、災害発生時の議員の参集について、オンライン会議システムを用いることができるとする改正を行うことを決定しました。

「滋賀大学との連携について」では、これまで経済学部のみと協定を締結しておりましたが、今年度から新たに滋賀大学全学と協定を締結しな

すことについて決定しました。

「協議項目等の整理について」では、「災害発生時の議員行動マニュアルの策定」「大学との連携」「手話通訳等の導入」「政務活動費の手引きの見直し」を優先的に取り組む項目としてきましたが、これらは一定の成果をあげていることから項目から除外しました。また、「議会ICT化の取組」につきましては、現在の取組の内容にあわせて「オンライン会議の活用」に変更することとし、「議員間討議の活用」「議会図書室規程の改正」と併せて、引き続き委員会で協議を重ねてまいります。

決算特別委員会

令和2年度の各会計決算を認定



議案第73号、議案第74号、議案第75号、議案第80号の審査のため決算特別委員会を設置し、10月6日(水)・7日(木)・8日(金)に委員会を開催しました。

委員長：安澤 勝 副委員長：小川 吉則

委員：黒澤 茂樹 小川 隆史 伊藤 容子 堀口 達也 長崎 任男 森野 克彦 森田 充 中川 睦子



委員からの主な質疑の概要

企画総務消防常任委員会が所管する事項



【全体】 枠配分方式の成果と課題について。実質公債費比率が下がり、年々改善されている理由について。

【歳入】 市税収入率の悪化の原因と対策、市民税・固定資産税・都市計画税の不納欠損額が増加している原因と評価などについて。

【歳出】 結婚新生活支援補助金、移住支援金が未執行になっている理由、アプリ「ひこまち」の成果と費用対効果、ヒューマンアクターの報酬に対する費用対効果に対する見解、RPA・AI導入業務検証委託料の内容と成果、クラウドファンディングに関する相談件数などについて。

市民産業建設常任委員会が所管する事項



【歳出】 特定健診の受診率が低下している理由、みんなで応援！ひこねカタログチョイス事業の経済効果、外来生物駆除委託料の妥当性、農地利用集積事業の成果、フィルムコミッション事業の支援状況、河川愛護作業補助金の実績、空き家等対策事業の委託内容と実績、公園緑地維持管理事業における遊具の点検頻度、指定管理者公園管理運営事業の管理状況などについて。

国民健康保険事業特別会計の傷病手当金の内容について。水道事業会計の老朽化した水道管の状況と、更新実施状況などについて。

福祉病院教育常任委員会が所管する事項



【歳出】 「我が事・丸ごと」の地域づくり推進事業の実績、生活困窮者自立支援事業の相談実績、奨学金返済支援制度の効果、福祉サービス調整委員設置事業の詳細な実績、老人福祉センターの利用状況から見える課題、子ども・若者支援事業内容と実績、学校支援・いじめ対策事業の内容、スクールサポーター配置事業の効果と実績、いじめの実態把握状況とその対応、特別支援教育支援員の配置状況などについて。

介護保険事業特別会計のはり・灸・マッサージ施術費給付事業の利用者減に対する見解などについて。

討論

【反対】 本市が取り組んだカタログチョイス事業では、市内事業者の5%しか参加していないことや、利用件数に大きな格差が生じているなど問題が生じており、多額の事業費を使うのであれば、大きな経済効果を生む事業にすべきであった。また、住宅リフォーム事業など地域経済再生に寄与できることが分かっていながら事業費を削減していることや福祉を優先する施策がなされておらず、市民の暮らし・健康を守る観点からも不十分であったことなどから反対する。

結果

議案はいずれも原案のとおり認定

※ヒューマンアクターとは、各自治会で開催されている「人権のまちづくり懇談会」の開催支援をしている方のことです。(本市の独自制度)
 ※RPAとは、「Robotic Process Automation」の略称でソフトウェアロボットによる業務プロセスの自動化のことです。
 ※AIとは、「Artificial Intelligence」の略称で人工知能のことです。



公政会



質問者

黒澤 茂樹議員
福祉病院教育常任委員会



令和4年度予算編成方針は



新型コロナ対策事業を最優先する

Q 令和4年度予算編成方針、予算編成方式および市長特別枠を設けることについて見解を問う。

A 歳入確保が厳しいことから、不要不急の事業や優先順位の低い事業について見直しを行う一方、市長公約である「新型コロナウイルス対策事業」を最優先課題とし、また、若い世代が出て行かず、移り住んでもらえる市を目指し、子育て支援、子育て環境の充実に努める。査定方式は、全ての事業について一件ずつ丁寧に見直すことが必要と考えており、一件査定方式の可能性を検討している。市長特別枠については、一件査定方式を検討しており、特に設けることはしない。



▲彦根市役所



「ひこね燦ぱれす」図書館転用案は



特殊な事情もあるが審議を願う

Q 有効活用とは到底考えにくい、「ひこね燦ぱれす」を図書館に転用する案について、改修に係る経費や耐震性能への影響等、具体的な金額や躯体の状況が全く分からない中で、何を基準にして図書館転用案の是非を審議、判断するのか。

A これから実施するひこね燦ぱれす図書館化調査検討業務において改修や増築の概要および概算経費を算出し、彦根市図書館整備基本計画を見直す中で固めていく。改修はできるだけ既存の構造を活かし、耐震性能に影響を及ぼさない改修とする。

審議するのは図書館整備のための基礎的な調査検討業務の委託実施についてであり、集会所機能を備えた建物を図書館に改修するという特殊な事情もあることから、整備後のイメージを描きにくいとは思いますが、審議をお願いしたい。



▲ひこね燦ぱれす

その他の質問

- ・新型コロナウイルス感染症への対応について
- ・2025年国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会について
- ・彦根城世界遺産登録について

夢みらい



質問者

小川 吉則議員
福祉病院教育常任委員会

Q 財政は健全であるのか

A 健全だが今まで以上に注意が必要

Q 市の財政は健全であるのか。令和2年度決算における、財政健全化判断比率の4つの指標はどうか。財政調整基金と減債基金などの積立金はどうか。

A 現時点では健全な財政状況であると言えるが、今後は今まで以上に注意が必要と考える。実質赤字比率および連結実質赤字比率は、赤字は発生していない。

実質公債費比率は、平成30年度から令和2年度までの3か年度平均で6.6%となり、前年度の7.3%から0.7ポイント改善した。将来負担比率は46.7%となる。

財政調整基金と減債基金の残高は、令和3年5月の発表では令和3年度末に残高が約11億円となる見通しだったが、9月補正予算において、財政調整基金積立金5億6,068万9千円、減債基金積立金2億円を計上し、令和3年度末の両基金を合わせた残高が約17億円となる見通しである。



▲彦根市の財政

Q タブレット授業の状況は

A 市内全小中学校で授業に活用

Q 国のGIGAスクール構想により、彦根市においても昨年度末までに全小中学生に一人一台のタブレットが配布された。タブレット授業の状況は。

A タブレット端末を使い、市内24校全ての学校において昨年度末から授業での活用を始めている。具体的には、個々の力に合わせて問題にあたるドリルソフトを使っての学習、また、課題解決に向けて、インターネットを使った調べ学習、カメラ機能を使った観察や、動画撮影など、ICTの良さを活かして学びの幅を広げている。

また、教員は従来は紙で配布していたプリント類に替えて、教員用端末から学習者用端末へ資料画面を送信したり、学習課題や資料を大型テレビやプロジェクターに提示をしたりするなど、ICTの特徴を活かし、効果的、効率的な指導を行なっている。



▲市内小学校のタブレット授業風景

その他の質問

- ・市長公約について
- ・入札制度について
- ・福祉施策について

市政について
質す!

9月定例会個人質問

18人の議員が、市政に対する個人質問を行いました

本会議では、事前申し込みによる手話通訳を実施しています。



ライブ・録画配信の視聴について

本会議は、ライブ・録画配信ともに、映像でご視聴いただけます。

また、常任委員会と特別委員会については、ライブ配信を映像でご視聴いただけます。



配信については、左のQRコードまたは「彦根市議会インターネット映像配信」にてご覧ください。 (<http://www.hikone-city.stream.jfit.co.jp/>)

各議員の質問をQRコードから見る

各議員ページ右上のQRコードを読み取っていただくと、それぞれの議員の質問内容に関連する録画映像配信ページにつながります。



北川 元気議員
企画総務消防常任委員会

Q 燦ぱれす図書館化を判断した理由は

A 市民にとって4つのメリットがあるため



その他の質問

- ・新型コロナウイルス感染症のワクチン接種について
- ・発達障害児の支援について

Q 燦ぱれす図書館化を判断した理由は。

A 燦ぱれすを図書館として有効活用することで市民にとって4つのメリットがあると考える。

①本市には現在、図書館が1館しかなく、しかも市北部に偏在しているため学区により図書館利用率に差が生じているが、燦ぱれすを図書館として整備することによりその状況が早期に改善される。

②燦ぱれすは、JR南彦根駅に近く交通の拠点であり、道路事情も良いうえにスポーツ・文化交流センターに隣接し、大型商業施設にも近いことから市民の利便性が高まる。

③まだ使える建物を解体せずに残して図書館化することで市民の資産が守られ有効活用が図られる。

④国庫補助対象事業とすることで、市民の負担が将来にわたって大幅に軽減される。



▲図書館として生まれ変わる燦ぱれす



森野 克彦議員
企画総務消防常任委員会

Q 彦根市内の「危険なバス停」の数は

A 彦根市内の「危険なバス停」は22か所ある



その他の質問

- ・特殊詐欺被害防止対策について
- ・彦根シティマラソンのオンライン開催について
- ・彦根市の少子高齢化対策について

Q 国土交通省の実態調査で公表された彦根市内の「危険なバス停」の数は。

A 安全対策が必要と考えられる彦根市内の「危険なバス停」は22か所ある。

Q 安全対策の実施の現状は。

A 現状においては対策の実施には至っていない。

Q バス停の移設や横断歩道の移設などの抜本的な対策までにできる対策は。

A 今できる対策として、「危険なバス停」での事故の危険性について周知するとともに必要な啓発活動を行うことで安全性の向上に努めていく。

Q 安全対策完了までの実施スケジュールは。

A 具体的な対応は運行事業者において行われるものとするが、現時点では具体的なスケジュールは示されておらず、本市としてもできるだけ早く対策が完了するよう必要な支援を行っていく。



▲国土交通省の実態調査で公表された市内の「危険なバス停」

※『危険なバス停』…横断歩道や交差点のそばに設置され、停車したバスで死角ができ、交通事故を誘発する恐れがあるバス停。



伊藤 容子議員
市民産業建設常任委員会

Q お城以外の文化財の積極的な活用は

A お城以外の歴史遺産・観光資源を活用したい



その他の質問

- ・シティプロモーションについて
- ・市民協働を提案公募型にしては
- ・市民活動の支援・推進に補助金支出一覧表を活用しては

Q 文化財整備と産業団体との連携は。

A 特別史跡彦根城跡の整備基本計画の策定では、観光や産業団体から助言頂いている。

Q 文化財整備について観光産業等関係の方々と連携しては。

A 世界遺産登録に向けて諸団体と連携しており、観光等についても今すすめているところで、今後も必要と考える。

Q お城以外の文化財（八景亭・旧木俣屋敷・金亀会館等々）の積極的な活用は。

A 体験型・滞在型の観光推進が非常に重要であり、お城以外の歴史遺産・観光資源を有効に活用したい。市内の文化財についても保存修理を中心とし、様々な活用方法を検討したい。

Q 今後の文化財整備についての考えは。

A 完全な民間活力で修理保存したスミス記念堂のように民間活力を使いながら保存できないか研究したい。



▲スミス記念堂（NPOスミス会議）





馬場 和子議員
企画総務消防常任委員会

Q 旧金亀荘の現状と今後の方向性は

A 新たな認定こども園の整備用地として活用



その他の質問

- ・新庁舎の屋上展望台・花壇について
- ・100歳大学やシルバー世代応援方策について
- ・彦根市民会館閉館に伴う課題等は

Q 市有財産の有効活用の観点から福祉ゾーン内にある旧金亀荘の現状は。

A 現在は主に、彦根市民会館に保管されていた埋蔵文化財等の一時保管場所として活用している。

Q 今後の活用の方向性や構想は。

A 市立幼稚園・保育所・こども園施設整備計画に基づき中央中学校区の就学前児童数と、市民ニーズの推移を分析し認定こども園の建設用地とするため、所管を福祉保健部障害福祉課から子ども未来部幼児課に移管した。



▲認定こども園の建設が予定されている旧金亀荘

Q 保育園機能も兼ねた認定こども園と、現在の金城幼稚園は併設するのか。

A 老朽化の著しい金城幼稚園は建て替えに合わせ認定こども園とすることとし、旧金亀荘跡地に建設を予定している。金城幼稚園の閉園と新たなこども園の開設が重なるためスムーズな移行の準備をしたい。



堀口 達也議員
福祉病院教育常任委員会

Q 不登校問題解決に向けた教育長の方針は

A オアシスやICT活用など充実を図る



その他の質問

- ・ヤングケアラーの実態調査が必要では
- ・SNSチャットなど相談環境を整備しては
- ・子どもの居場所づくりに対する予算は

Q 不登校児童生徒の現状は。

A 令和元年度で小学校80人、中学校124人。

Q オンライン授業導入に対する見解は。

A 不登校児童生徒への繋がりや学びを保障する有効な方策のため、一人ひとりの状況に応じ選択できるようにする。

Q Teamsを活用したオンライン相談を行っては。

A 不登校児童生徒が社会との繋がりを持つ大切な支援のため、スクールカウンセラー等と協力し、相談など活用を進める。

Q ハイブリッド型授業に対する見解は。

A 分散登校とオンライン学習を組み合わせた授業は、不登校児童生徒の学びを保障するための有効な手段である。

Q 教育長の方針は。

A 不登校児童生徒の多様な学びを確保するため、オアシスやフリースクール、ICTを活用した学習支援など充実を図る。



▲現在のオンライン授業の様子

※ハイブリッド型授業とは、オンライン方式と対面方式を組み合わせる授業のことです。



安澤 勝議員
市民産業建設常任委員会

Q 中学生の活躍をお祝いできないか

A 検討には十分値する



その他の質問

- ・中学生への激励金は
- ・学校関係者のワクチン接種状況は
- ・市職員のワクチン接種状況は

Q 広報ひこねに中学生の活躍を記事掲載する検討はできないか。

A 紙面の量も限られており、全ての中学生の活躍を紹介することは難しい。

Q 本市にある高校や本市出身の選手同様に横断幕等の対応が必要では。

A 周知することは大変有意義だが、設置する場所が限られており中学生の活躍について横断幕等での周知は難しい。学校において寄付された懸垂幕等が掲示されている。

Q なぜ中学生の活躍は同様にお祝いしてもらえないのか。

A 広報への掲載も含めて検討には十分値する。全ての活躍となれば難しいが、全国大会ということは素晴らしいこと。スポーツのまち彦根というスローガンの基に進めるのであれば、現在建設中のスポーツ・文化交流センターに設置できないか検討していきたい。



▲鳥居本駅の横断幕



中野 正剛議員
企画総務消防常任委員会

Q SDGsの具体的な達成目標を示しては

A 広報やホームページで市民への周知を図る



その他の質問

- ・彦根市の消防・災害時におけるドローンの活用について
- ・彦根市LINE公式アカウントの防災・災害情報について

Q SDGsについて彦根市における具体的な達成目標を示してはどうか。

A SDGsの取組は、大変重要であるという認識のもと、次期「彦根市総合計画」を始め、「彦根市男女共同参画計画」や「第2次彦根市多文化共生推進プラン」、「第3期彦根市環境基本計画」などに反映させて各分野において全庁的に推進を図っていくこととしているが、広く市民の皆様への周知までには至っていない。

今後、SDGsの各目標について、「彦根市総合計画」の政策・施策の推進により、具体的にどのような形で達成していくことになるのか、本市におけるSDGsの達成目標を明確にし、「広報ひこね」や市ホームページ等を通じて、市民の皆様への周知を図っていく。



▲SDGsについて村の具体的な取組を紹介している茨城県美浦村の「広報みほ」（抜粋）

※SDGsとは「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」の略称です。



小川 隆史議員
企画総務消防常任委員会

Q 複合的施設としての図書館化は

A 複合的施設の可能性は前向きに検討する



Q 燦ぱれすの図書館化について、城南学区連合自治会長会議や他町の自治会役員、子ども会長、老人クラブ連合会役員等はいずれも賛成されているが、ここでの聞き取りの結果、本を読むだけの図書館以外に飲食、講座、子育て相談、親子教室、避難場所など多目的機能を合わせ持つ複合的な施設整備を望む声が多数あった。市民の声をどのように受け止めているのか。

A 図書館の必要なスペースを確保してから、他のエリアで多様なサービスを提供し、交流棟との機能の役割分担を含めて、複合施設の可能性を前向きに検討する。

Q 緊急時に、母子、妊産婦専用の避難所にならないか。

A 小さなお子さんを持たれる方にはありがたい避難所になるので、先進事例等を踏まえ、しっかり検討していく。



▲ひこね燦ぱれす



中川 睦子議員
市民産業建設常任委員会

Q 感染拡大の中、子どもの命と学びの保障は

A 教職員が一丸になり、課題の解決に努める



その他の質問

- ・彦根市のごみ減量の推進について
- ・社会情勢の変化と地域ニーズにあった子育て環境の充実について

Q 学校給食だけが栄養のとれる食事という家庭もある中、コロナ禍での給食提供は。

A 2学期から感染防止対策の一つとして、適切な栄養がとれるよう配慮のうえ、配膳過程の省略のため、小学校一品減、中学校の主食は個包装のパン・麺とした。

Q コロナ禍で、家庭環境による格差拡大の恐れがある。すべての子どもの豊かな成長の保障のため、柔軟な対応が求められる。オンライン授業ですべての子どもの学びが保障されるのか。

A 家庭での操作に困って不安な時は複数の教員が連携・協力して関わり、問題解決に努めている。

Q 子ども一人で不安な時、個別訪問は行えないか。

A 教員の働き方改革を進めている中考えていないが、事務局に連絡があれば学校と相談して訪問等、環境の改善に取り組む。



▲学習者用端末の充電保管庫



長崎 任男議員
企画総務消防常任委員会

Q 清崎町に間違いなく図書館は建設されるのか

A 清崎町は間違いなく中央館建設候補地である

Q 昨今の新聞等マスコミ報道により、清崎町に決まった中央館候補地が燦ぱれず跡地にすり替ってしまうのではとの不安の声が私のもとに多数寄せられている。改めて聞くが、中央館の建設用地に決定された清崎町に間違いなく図書館は建設されるのか。

A 中央館の整備は、厳しい財政状況のため延伸せざるを得ない状況だが、清崎町は間違いなく候補地である。

Q 清崎町地先に決まった中央館建設に対し、遅くとも市長の任期中に何らかの進展を見せるべきでは。

A 一日でも早く財政状況を好転させ、財源を確保し、遅くとも市長の任期中に何らかの方向性を示せるよう全力を傾注したい。



▲図書館（中央館）建設予定地の清崎町地先



その他の質問

- ・ 8月豪雨災害に係る避難所運営に問題はなかったか
- ・ 土砂災害危険個所の再点検は行ったか



矢吹 安子議員
企画総務消防常任委員会

Q 医療的ケア児施設の拡充が必要では

A 施設整備補助などできる支援策を講じたい

Q 医療的ケア児の人数は。

A 本市では令和3年8月31日時点で26人。

Q 医療的ケア児の家族の負担内容は。

A 経管栄養、喀痰吸引、酸素補充療法、人工呼吸器の装着、気管切開、導尿等、日常生活において多くのケアを担っている家族の負担は大きい。

Q 医療的ケア児支援の啓発活動は。

A 子どもや家族が温かく受け入れられ、幸せに暮らせる支援と市民の理解を深めていただくため、各種イベントなどで啓発活動に取り組む。

Q 医療的ケア児支援法を受け、小学生以上の利用施設の拡充を願うが見解は。

A 「青い鳥会」、「道」が家族の負担を軽減するサービスを提供されているが、医療的ケアの必要な子どもが利用できる事業所の拡充に向けて、施設整備補助などの支援策を講じていきたいと考える。



その他の質問

- ・ 彦根市少年山の家の「自然の家」について
- ・ 「比婆神社」等の広報活動への見解は
- ・ 「男鬼町」復活についての見解は



▲「道」が運営する「森のお家」の様子

※医療的ケア児とは、心身の機能に障害があり、呼吸や栄養摂取、排泄などの際に医療機器やケアを必要とする方たちのことです。



森田 充議員
市民産業建設常任委員会

Q 新施設の稼働率を上げるための施策は

A 合宿誘致は有効な施策と認識している



その他の質問

- ・ヤングケアラーを知ってもらおう啓発活動が必要では
- ・スポーツ振興から見た地場産業の活用は

Q 彦根市スポーツ・文化交流センターの稼働率を上げるための施策は。

A 指定管理者の選定時に魅力的な各種教室や講座の開催など企画・実効性のある提案を求めていく。合宿誘致については、県内はもとより、県外に向けて当施設のことを知ってもらう必要がある。指定管理者や宿泊、飲食などの関係団体とも連携しながら広報活動やイベント、各種大会の誘致に努め、取組の中で、当施設を合宿先の選択肢に入れてもらうことが重要と認識している。

Q 各種施設との連携は。

A 関係各所と連携し、スポーツ、宿泊、観光の各種施設、食や物産等に関する情報や観光メニュー等を積極的に発信し、「彦根市で合宿がしたい」と思っただけのコンテンツを創出していく。



▲令和4年6月竣工予定 スポーツ・文化交流センター



林 利幸議員
福祉病院教育常任委員会

Q 独自の協力金・支援金は考えていないのか

A 何らかの支援方を前向きに検討している



その他の質問

- ・新ごみ処理施設へのアクセス道路について

Q 市長はコロナ禍の市内経済の現状をどのようにお考えか。

A 今般の緊急事態宣言に伴う休業等要請で市内事業者の方々は大変なご苦勞を強いられているものと認識している。

Q 市内で破産等法的整理の準備に入った企業や事業者はないか。

A 彦根商工会議所・稲枝商工会に加入する会員のうち令和2年4月以降市内で少なくとも58件の廃業があった。

Q 飲食店等への彦根市独自の協力金や支援金は考えていないのか。

A その必要性は十分認識しているので、財源等も踏まえ何らかの支援の方策について前向きに検討している。



▲緊急事態宣言に伴う休業要請等に従う飲食店



角井 英明議員
福祉病院教育常任委員会

Q 火災時における安全・安心の体制は

A 道路狭隘地区の計画策定や調査の実施



その他の質問

- ・彦根市の図書館の充実について
- ・コロナ感染症拡大のなかでの医療体制について

Q 火災時、大型の消防車が入れない地域はあるか。

A 道路が狭隘で、消防車両の進入が困難である地域のうち、部署した車両から50m以上離れる地域を道路狭隘地区として把握している。

Q どういった対策が講じられているか。

A 狭隘地域の道路状況や消防水利状況などを考えて「道路狭隘地区警備計画」を策定し、定期的に道路や建物、消防水利の状況等の調査を実施している。有事の際には、この計画に基づき、消防車両が通行できない狭隘な場所でも1本20mのホースを10本以上積載し、ホースの長距離延長が可能なホースカー等を活用して対応する。

Q 該当地域への周知はできているか。

A 文書等での周知は行っていないが、地域の防火防災訓練指導等で周知に努めている。



▲ホースカー



野村 博雄議員
福祉病院教育常任委員会

Q 愛のりタクシー利便性向上や公共交通充実は

A 更なる割引等の検討や公共交通充実に努める



その他の質問

- ・コロナ禍での高齢者支援の充実について
- ・学力向上への取組について
- ・ふるさと納税・企業版ふるさと納税について

Q 愛のりタクシー回数券の販売場所充実や路線バス乗務員の確保への取組は。

A 取組を適宜進めており、今後も利用者のニーズに基づき検討を行い、また運行事業者とも協力しながらしっかり進めていく。

Q 例えば令和元年度の路線バス河瀬線の再編等、バス路線の再編が市民に与える影響への見解と対策は。

A 多くの市民に影響を及ぼすと考えており、令和元年度には路線バスの代替交通手段となる愛のりタクシーの運賃引き下げや「ふく割」「乗り継ぎ割引」等も導入した。更に停留所の増設、ダイヤの見直し、割引制度の充実等今後も検討していく。

Q 公共交通充実の為、路線バスや愛のりタクシー以外の方策への取組は。

A 公共交通部門と福祉部門が緊密に連携ししっかり協議を進めていく。



▲更なる利便性向上が期待される愛のりタクシー



辻 真理子議員
市民産業建設常任委員会

Q 公営プールの新設は

A 県に要望している



その他の質問

- ・燦ばれず図書館化の補正予算について
- ・民間フリースクール公的支援の早期実施について
- ・自動心臓マッサージ器の有効性は

Q 東京オリンピック競泳で金メダル2個を獲得した大橋悠依選手、パラリンピック競泳で金メダルを獲得した木村敬一選手などの彦根市出身やゆかりある選手たちを、スポーツ・文化交流センターで顕彰する予定は。

A センター内にスペースを設け、顕彰したい。

Q 現在、彦根市には公営プールがないが、新ごみ処理施設の熱を利用してプールを整備して市民に開放すれば、第二・第三の大橋選手が誕生することが考えられるが、新ごみ処理施設計画と並行して推進する考えは。

A プールについては国スポ・障スポ主会場整備のため取り壊されたことから、県において建設すべきものとするので、今後も、引き続き県に要望していく。

▲大橋選手の出身中学校（東中）に掲げられた金メダル獲得の懸垂幕



和田 一繁議員
市民産業建設常任委員会

Q 今後のコンベンションサービスの考えは

A 本市の観光誘客、交流人口の増加に取り組む



その他の質問

- ・彦根市の観光組織について
- ・特別史跡内の環境整備状況について
- ・彦根市の交流人口増加策について

Q 今後のコンベンションサービスについての考えは。

A 彦根城の世界遺産登録や国スポ・障スポを始めとして、本市の観光にとっては、国内外からの注目が集まる大きなチャンスであると捉えているので、関係団体等とも連携しながら、コンベンションの支援を含め、本市への観光誘客、交流人口の増加に取り組んでいく。

Q コンベンション施設を含む宿泊施設誘致の考えは。

A 現状のコロナ禍の中、海外旅行客の激減や国内での移動自粛により、宿泊業界の冷え込みは一層厳しく、新規立地には、慎重にならざるを得ない状況であると推察される。コンベンション機能を有する宿泊施設を誘致することは、地域経済の活性化や観光誘客に大きく寄与することから、誘致に向けた調査研究に努めていく。



▲彦根市コンベンション施設ガイド



赤井 康彦議員
市民産業建設常任委員会

Q 南彦根駅にエスカレータを設置すべきでは

A できるだけ早く実現するように取り組んでいく



その他の質問

- ・スポーツ・文化交流センターのオープニングイベントは
- ・ひこね燦ぱれす図書館化への市長の決意は

Q 現在、市内JRの中で唯一エスカレーターの無い南彦根駅にエスカレーターを設置すべきであると考えているが市長の考えはいかがか。

A 必要性は十分に認識しているのでしっかりと都市再生整備計画に位置付け、できるだけ早く実現するように取り組んでいく。

Q 図書館とスポーツ・文化交流センターができた時、バスの停留所は今現在福満公園近くに一か所あるが燦ぱれす側にも停留所を作ってはいかがか。

A 現在の路線上に燦ぱれす付近で乗降できる停留所を増設することで新施設へのアクセスを向上させることになると考えており、運行业者と協議する。

Q 渋滞解消の新たな考えは。

A ひこね市文化プラザや近隣の企業駐車場を借用し、シャトルバスを運行するなどに対応。



▲ JR大津・米原間で唯一エスカレーターの無い南彦根駅

災害時の参集訓練を実施し、オンライン会議システムを活用して連絡体制の確認などを行いました！



- ・実施日時：令和3年9月1日(水) 午前9時00分から午前9時30分まで
- ・実施場所：彦根市役所本庁舎議会会議室
およびオンライン会議システム (Zoom)
- ・参加者：彦根市議会議員23名、事務局8名
- ・訓練内容：安否確認および被災状況の報告・共有



【訓練想定】

非常に強い台風の接近に伴い、滋賀県では断続的に大雨が降り続き、彦根市内を流れる主要河川が、避難判断水位（特別警戒水位）を突破した。また、新型コロナウイルスの感染も拡大している状況。こうした状況の中で、震度6の鈴鹿西縁断層帯を震源とする直下型地震が発生し、震源地に近い彦根市では市内各所で被害が発生した。災害発生後、彦根市においては彦根市災害対策本部が設置された。



【訓練詳細】

午前8時45分に災害が発生したと想定。市議会で構成する彦根市議会災害対策支援本部を本庁舎に設置し、本部役員（会派代表者）が午前9時にオンライン会議システムにて参集しました。その後、本部長（議長）の判断により午前9時10分に本部員（全議員）を招集し、午前9時20分にオンライン会議システムにて参集、議席番号順に自身の安否と周囲の被災状況を報告・共有しました。

国立大学法人滋賀大学と連携・協力に関する協定を締結しました！

国立大学法人滋賀大学と彦根市議会との連携・協力に関する協定書

国立大学法人滋賀大学(以下「甲」という。)と彦根市議会(以下「乙」という。)は、地方自治および地域社会の活性化と地域における人材育成に資するため、次のとおり協定を締結する。

(目的)
第1条 本協定は、甲および乙が地方自治および地域社会の活性化と地域創生を担う人材の育成に資することを目的とする。

(連携・協力事項)
第2条 甲および乙は、前条の目的を達成するため、次の事項について連携し、相互に協力する。

- (1) 甲の人材育成および教育・研究活動の充実・発展に関すること。
- (2) 乙の広報・広聴活動等、地方自治活動の充実・発展に関すること。
- (3) その他甲と乙が協議し、必要と認める事項に関すること。

(推進体制)
第3条 甲および乙は、前条に規定する事項の円滑な推進を図るため、必要な協議を行う。

(守秘義務)
第4条 甲および乙は、この協定に基づく活動において知り得た秘密事項について、本協定の有効期間中および有効期間終了後を問わず、第三者に漏えいし、または開示してはならない。ただし、事前に甲と乙が合意した場合は、この限りでない。

(有効期間)
第5条 本協定の有効期間は、協定締結の日から2022年3月31日までとする。ただし、有効期間満了の1か月前までに甲および乙から書面による別段の意思表示がないときは、本協定は自動的に1年間延長されるものとし、以後も同様とする。

(その他)
第6条 この協定に定める事項について疑義が生じたとき、またはこの協定に定めのない事項について必要があるときは、甲と乙が協議して定める。

この協定の成立を証するため、本書を2通作成し、甲乙それぞれ署名捺印の上、各自の1通を保有する。

2021年8月5日

甲 滋賀県彦根市馬場一丁目1番1号
国立大学法人滋賀大学

学 長 位 田 隆 一

乙 滋賀県彦根市元町4番2号
彦根市議会

議 長 谷 口 典 隆

▲今回調印した協定書

滋賀大学経済学部と彦根市議会は平成29年8月1日に「滋賀大学経済学部と彦根市議会との連携および協力に関する協定書」を締結し、事業を進めてまいりましたが、滋賀大学にデータサイエンス学部が設置されていることなどから、枠組みを発展的に拡大し、令和3年8月5日、国立大学法人滋賀大学と彦根市議会は新たに連携・協力に関する協定を締結しました。

なお、本協定書は、大学における教育研究活動や市議会の広報広聴活動等を通じて両者が連携し、協力を行う体制の充実を図ることにより、相互の発展ならびに地方自治および地域社会の活性化と地域創生を担う人材の育成に資することを目的とするものです。

今後は、議員が大学の授業に参加し、学生と意見交換を行うほか、議会としてのインターンシップの受け入れ、また、大学と協力してビッグデータを利活用する等、様々な可能性を模索し、実施してまいります。



編集後記

長引くコロナ禍により、彦根市議会におきましても本会議の際、議場に入る議員を減らす等、徹底した感染症対策を実施しております。

さて、9月定例会では、2会派による代表質問と18名の議員による個人質問を行いました。これからも日々研鑽を重ね、皆様のお声を市政に反映することができるよう努めてまいります。

また、9月1日には彦根市議会議員参集訓練(情報伝達訓練)を実施しました。訓練では、議員それぞれが自宅等からリモートで安否確認や被害状況等の報告を行いました。コロナ禍で様々な場面においてICT化が進みましたが、市議会においても、今後も研究を重ね、更に活用を進めていきたいと考えております。

広報委員会



次の定例会は

11月29日開会です

本会議・委員会の日程(予定)

月 日	内 容	時 刻
11月29日(月)	開 会	9:00
12月6日(月)	個人質問	9:00
12月7日(火)		
12月8日(水)		
12月10日(金)	予算常任委員会	9:30
12月13日(月)	企画総務消防常任委員会	9:30
12月14日(火)	福祉病院教育常任委員会	9:30
12月15日(水)	市民産業建設常任委員会	9:30
12月20日(月)	閉 会	9:00